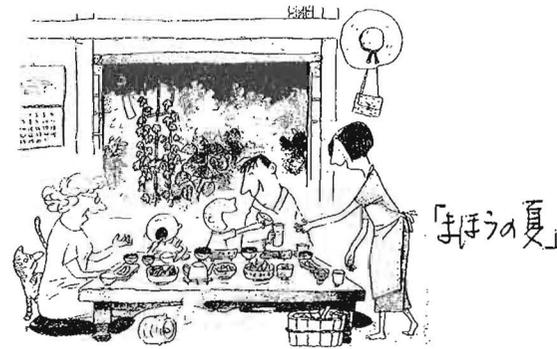


# 9月の園便り



22年 新潟青陵幼稚園 加藤由美子

お盆を過ぎると次第に涼しくなるというような、いつもはこう・・・とは言えない、予測できない気候が続いていて、どんな夏になるのかどんな冬になるのか・・・“異常”が“普通”になってしまうような・・・地球はどうなってしまうのか心配になりますね。

さて、夏休み、子どもたちはどんな様子だったのでしょうか。子どもたちは人の役に立つことをとても喜びます。家庭の中で、子ども自身がやりたいと思った仕事をやって、ご家族の皆様が、それを喜んでくださると、ご家族から必要とされている幸せを感じることができますね。子どもが人の役に立つことの喜びを感じる経験はとても大切なことです。・・・NHK「ペルー 叱らない森の子育て」という番組で・・・3歳の男の子が主食のお芋を掘るお母さんのお手伝いをしていたのですが、お母さんは畑で黙々とナイフで土の上に出ている芋の茎のようなものを切り払い、芋を掘り出していました。男の子も大きなナイフ---というよりナタに見えましたが、これいい？と聞きながら、細い茎をお母さんと同じようにナイフで茎を切り、芋を掘り出していました。男の子が掘った芋は、とっても小さかったのですが、お母さんは「かわいいのが掘れたね」と一言、お母さんはその茎はまだよとか、ほらねやっぱり芋が小さいでしょとか一切いわないのです。子ども自身が学ぶ機会を大切にしているようでした。芋を掘り終わると、お母さんが芋の入ったかごを担ぎました。すると、男の子はお母さんの手からナイフを取り、何気なく持ってあげました。この子育ての方法は、まさに模倣による教育だとちょっと感激でした。子どもの学ぶ力を信じられない大人は、つい教えてあげようと力が入って、余計なことを言って、子どものやりたいという意欲を削いでしまうことが多いのですが、このお母さんはあっぱれでした。ごく自然に過ごす中で、子ども自身が学ぶ機会を作っていました。また、けんかをしたり、いけないことをしたら、叱らずに薬草のお湯で体を洗うことによっていけない事をした心（霊？）を洗い流すのだそうです。しかも、洗うのはおばあさんや親戚の人であって、親はやってはいけないのだそうです。なぜなら体を洗うのが終わったら、親が子どもを温かく受け止めて慰めてあげなければならないからなのだそうです。なんて幸せなんでしょう、見ていて嬉しくなりました。

大きな声で叱らなくては言うことを聞かない子どもにしてしまうのは私たち大人なのでしょうね。叱らずに、子どもが自分で経験し学んで、分かってくことを大切にしたいですね。番組を見た後、なんだか気持ちがほんわか-----子どもが大切にされている姿は嬉しいですね。

## 22年9月の予定

日	曜	給食	降園時間	行	事
1	水	×	11:30	第二学期始業式	
2	木	×	11:30		
3	金	○	2:00	給食が始まります。	
4	土	×	11:30	自由登園日です。	
5	日	/	/		
6	月	○	2:00		
7	火	○	2:00		
8	水	○	2:00		
9	木	○	2:00		
10	金	○	2:00		
11	土	/	/	第2土曜日	
12	日	/	/		
13	月	○	2:00		
14	火	○	2:00		
15	水	×	11:30	誕生会、9月生まれさんの保護者の方、ご一緒にお祝いしましょう。	
16	木	○	2:00		
17	金	○	2:00		
18	土	/	/	第4土曜日振替休日	
19	日	/	/		
20	月	/	/	敬老の日	
21	火	○	2:00		
22	水	○	2:00		
23	木	○	2:00	秋分の日	
24	金	○	2:00		
25	土	/	/	体験入園のため、自由登園はお休みです。	
26	日	/	/	なかよしカーニバルです	
27	月	/	/	振替休日です。星の子は行きます。ご利用ください。	
28	火	○	2:00		
29	水	○	2:00		
30	木	○	2:00		